

事業名

里山保育事業



- 申請者名 里山保育 こまめ
- 代表者 平野 純子
- 活動PR <https://onl.la/HfCp3fg>
- 活動場所 泊まれる公園 INN THE PARK



1. 活動の目的

1. 自然保育を通じて、多感な幼児期の子どもの、自主性や積極性を育む。
2. 親子参加とすることで、あらかじめ遊具などが与えられるレジャーとは異なり、使えるものがかぎられた自然の中で、遊び方を考えさせ、親と子が関わる機会を増やす。
3. 野外でできる親子のコミュニケーションの取り方があることを、一人でも多くの方に知ってもらう。

2. 活動を始めた経緯

【代表者 平野さんより】私は元々小学校の教員をやっていました。教育現場にいた頃に子どもたちの体力の衰えや、行動や言動から、自分の意志で定められない、自分から行動できない子どもたちが増えてきていると感じており、子どもたち自身で自分の行動に責任を持たせる、自ら積極的に動く力を養わせたいという思いがありました。教員を退職後、様々なことを研究する中で、自然を媒体に火を使ったり、工作や料理を屋外で実践する森の幼稚園の存在を知り、また自分がアウトドアが好きだったこともあり、この事業を始めのきっかけになりました。

また、小学生よりも前の幼児期で大切なことをはぐくみたいという思いも教員時代から抱いていたこともあり、未就学児を対象とし、中でも特に2、3歳についてはいろんな事を吸収する多感な時期ということもあり、年齢を限定することとしました。

コンセプト

- 自分
- ① 「で」考える
 - ② 「が」決める
 - ③ 「から」行動する



4. この活動を通じてつながることができた方々

- ◆沼津市緑地公園課（公園管理主管課）
会場となるINN THE PARKの使用許可申請を3か月に1度届出をしている。
冬場は敷地内にある山小屋を借りて食事をとる場所を設けている。
- ◆子育てサークル（いちごサークル/ママとね）
ホームページを通じて活動を見て、情報交換をするようになった。
- ◆子育て支援センター
子育て支援課が所管し、親子（0歳～小学生）の親子で遊べる施設。予約不要、入退室自由、利用料無料でスタッフに育児相談などもすることができる。
活動を紹介するチラシなどの配架を依頼し、事業周知に協力。
- ◆静岡オーガニックフェスティバル
「自然のありがたさを感じ、持続可能な社会をみんなで作っていくこと」を目指し、愛鷹運動公園を会場とし、年1回開催される野外イベント。
実行委員として参画し、里山保育の子供たちが作った農作物の販売ブースの出店。

3. 活動内容

1. ～助成時の活動について～【平成28年度：スタート支援】



- ・ホームページやチラシを作成し、活動初年度は事業のPRや周知の実施
- ・0～3歳までの親子参加型保育を中心に事業を実施し、延べ158人の参加実績

2. ～助成から現在までの活動について～（令和3年12月現在）

- ◎現在は2、3歳の保育を対象とする「こまめ」を基本の活動とし、月1回の0歳～2歳とその保護者の活動である「おやこまめ」を実施しています。
- ◎現在約50名の会員があり、毎日10名程の利用者がいます。常勤スタッフ3名と臨時2名で、シフト勤務としながら、交代で保育を行っています。
- ◎活動費は、会員による会費を充てることで、収入と自己資金で全て賄っています。
- ◎コロナ禍によりレジャー施設が閉鎖されたため、森で遊ぶことに関心が高まり、参加者はどんどん増え続けています。



5. この活動を通じて感じた効果・成果

- ◎ホームページで毎日更新をしている成長日記を見て、問い合わせが増えてきているので、ファンになってくれる人が増えてきているのを実感しています。また、お子さんのお母さんからも、ママ友から「お子さん変わったね、どうしたの？」と話題になり、里山保育が口コミで広がっていることを聞いています。保育を通じて、親御さんのお子さんを見る目が変わったことを、直接言葉にしてもらったとき、この活動のやりがいを感じています。
- ◎この活動を通じて、人のつながりが広がり、生活が豊かになったと感じます。事業に関して、コミュニケーションをとれる人も確実に増えました。事業を始めた当初は、経済的にも精神的にもつらい時期もありましたが、この事業を周囲の方々に知っていただいていた周りの人や親子で通ってくる親子に助けられました。当初は4歳以降の幼稚園児の受け入れもしていましたが、人手が回らなくなり、対象年齢を絞ったことで、上手くいっていると思います。

6. 今後の活動について

- ◎現在は特定の活動拠点が無いので、園舎が欲しいです。予約の確認やお金の管理も全て自宅やワーキングスペースのシンマチで行っています。
- ◎現在は個人事業で活動を続けていますが、今後は認可を受ける方向になると思います。既に、静岡県からも問い合わせを受けていますので、今後は保育士の有資格者を増やすなど、認可に向けて準備を進めていきます。